

学芸



CONTENTS

- 会報「学芸」第15号  
発刊しました。—— 2
- 会報 和田 貞夫
- 施設  
春明辰 周子利雄 3
- 平成21年度選手団の学業報告  
高等学校 校長 高橋峰和 4
- 平成21年度PTA運動の報告  
PTA会長 中澤 強 4
- 活動報告 ..... 5
- 行事報告 ..... 6
- 優かしい先生の消息 ..... 9
- 次期会長の予告  
事務局次長 寺西光介 10
- 団 一 喜田太輔 11
- クラブ活動で  
活躍しています ..... 12
- 同窓生短信 ..... 16
- 訃報 ..... 16
- 久遠懇親会  
副会長 中西 篤 ..... 17
- 「学園祭係員者懇親会」  
管理基金資金にご協力を ..... 18
- 部室修繕費基金  
寄付者ご芳名 ..... 18
- 平成22年度 同窓会への  
賛助会員の願い ..... 19
- 寄付金貯金者ご芳名 ..... 19
- 平成22年度決算報告 ..... 20
- 年会費納入に  
ついてのお願い ..... 22
- 平成22年度懇親会及び  
年賀状事務のご案内 ..... 23
- 新入兄弟会員の紹介 ..... 23
- 平成21年度賛助会員登録 ..... 23
- あとがき ..... 23

第15号  
2010



大阪学芸高等学校同窓会  
(成器会)

発行所: 〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15  
TEL 06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

# 会報 第十五号発刊にあたり



大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

会長 和田貞夫

世界は昨年二つの大きな危機に直面しました。一つはサブプライムローン問題に端を発した経済危機であり、他の一つは気候変動（温暖化）による地球温暖化危機であります。

この二つの危機の対応策は日・米・欧と新興国・発展途上国で構成するG20首脳会議を「世界経済フォーラム」と改称し、議論する主舞台の場にすべきであると思います。

アメリカでは昨年一月に八年間続いた共和党政権に代わり、民主党で初の大統領であるオバマ政権が誕生し、わが国においても50年間継続してきた自民党政権から民主党を中心とした民主・社民・国民新による鳩山由紀

年にしたいと思います。

本年は同窓会（成器会）の立て直しの年にして、行、秋季懇親会という大事業には参加者を大奮闘して盛会裡に催すことが出来るよう、全役員が一丸となつて頑張りたいと存じます。

同窓会組織を強化するために学校側のご協力を戴き各卒業期別に常任幹事を選出してもらい役員会を充実して参りたいと存じます。

又卒業期別とは別に現役当時の各種クラブ活動OBのみなさんにも協力を戴き、趣味の仲間から同窓会活動に参加願う活動家を堀り興していただきたいと思します。

更に新しい卒業期別の比較的若い方々に青年部の強化をお願いしたいと存じます。青年部が強化出来れば学校の各種諸行事や部活動にも積極的に参加するなど協力をさせていただく活動を学校側に申し上げ、その活動を通じて現役の生徒と卒業したOB・Gとの交流の場をつくり行きたいとも考えて

います。

前述のように私学にとっては極めて厳しい経営が予想されますので学園側と同窓会が一体となつて切り抜けて行くべきではありません。校祖遠藤三吉先生の崇高な建学精神を受けつぎ、約三万名の卒業生が一体となつて学園側に協力すれば厳しい戦いを必ず切り抜けられると思います。

一〇〇年以上に及ぶ歴史と伝統を誇りにして学園の歴史を積み上げて行くことが私たち卒業生の責任であると全卒業生が改めて自覚をする一年にして参りたいと存じますので皆さんの協力をお願い申し上げます。

本年も皆様方にとつて良い年でありますようお祈り致します。

当者を送つて戴き学園として同窓会に協力体制をつくりて戴いております。従つて一舉には期待できませんが、担任教員と卒業生との繋りも従来より密接になり、役員会の充実や総会や懇親会への参加者が増加する」とも期待出

ご挨拶



学校法人大阪学芸  
理事長

岡本利雄

ます。このことが入学生徒の確保に直結するかどうかは、学力レベルの設定や当該大学への進学保証の問題等と相俟つて一概に言えません。但し生徒・保護者のニーズを一つ読み違えると、いかに有名大学と提携を結んでも夢々たる募集結果に終わってしまいます」とは、既に実例として挙がっています。このような厳しい情勢の元、本学園は「大学の冠」に類のない真の実力を備えた学校づくりに邁進したいと考えます。

ページを「新し」、外部に向けた大変見易いサイトを設けました。若さに溢れた躍動感と、教育機関に相応しい上品さを併せ持ったホームページだと自負しています。こちらも是非ご覧戴き、「母校の現在」を実感して戴けましたら幸いです。

具体的な生徒募集活動に当たっては、新たな取組みを実施します。「特技」「コースの設置」「理系クラブ」の定員増加」「一年留学制度の積極的実施」の3つです。

まず「特技コース」の設置ですが、このコースを

1. 学校教育を通して、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。
2. 生徒が、何歳になつても誇りを持つて語れる学園を創ります。  
放課後部、土曜日講習会を自らの運営していく

同窓生の皆様には、平素より母校への多大なるご

支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
本学園は今年で創立106周年を迎ました。百年の学園の歴史と歩みを一緒に走りました。永い歳月を経て、今や大阪学芸高等専門学校は、府下の私学に於いて確固たる地位を築いてきました。これも同窓生の皆様によつて連絡と切磋が行われてきた成績の賜と、心より感謝申し上げます。

さて、少子化になかなか歴止めが掛からない状況下で、現在の私学を取り巻く情勢は實に厳しくあります。加えて長引く経済不況は「私学難堪化」を加速させ、生徒・保護者は學費の安い公立高校への進学を選択する傾向がはつきりと現われています。さらに先般の政権交代に伴う「公立高校授業料無償化」の実施は私学に多大な影響を及ぼすことがあります。教育の公平性の観点からは、公私との競争負担格差は極力抑えられるべきだと思いますが、現時点では私立高校に通う生徒に対する補助は、保護者の収入基準制限など不確定要素が大きく、今後の推移を慎重に見守りたいと思います。

本校は昨年、志願者数2037名を数えながら、公立高校との併願希望者が多かったために、入学者数は393名と募集定員を下回ってしまいました。安定した生徒募集を行なう上で専願者を増やすことは喫緊の課題であります。生徒・保護者の信頼を得るには、日々真摯に教育内容の充実を図り、着実に進学実績を向上させることが重要です。(ご承知のこととおり、幾つかの私立高校は有名私大との提携・連携・系列化によって活路を見出そうとしている

理事会は「中長期経営計画」策定に当たり、監査された状況を客観的に分析し、財政・教育・施設各分野における問題点を洗い出すとともに、15年先を見据えた抜本的な対策を打ち立てた。そして限られた財政原資を有効に活用するに間接経費の削減などに努めた結果、改革元年成20年度は、早くも顕著な改善効果が得られました。計画発表後の進捗状況は既に教職員に発表しましたが、学園運営の透明化の観点から、今後も計画作業は適時行なって参ります。

次に募集分野では大幅な組織改編を実施し、会員機能を高めました。また募集における伝言を強化しました。従来の地下鉄車内放送にて「御堂筋線を中心とする地下鉄10駅」、乗やかな音楽を基調とした学園の広告看板を掲出しています。立ち寄りの際は是非ご覧下さい。ついで「学校を

# ご挨拶

学校法人大阪学芸

理事長

**岡本利雄**

同窓生の皆様には、平素より母校への多大なる  
支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本学園は今年で創立106周年を迎えるました。百  
余年の学園の歴史は、20世紀の歴史とほぼ軌を一  
にしています。長い歳月を経て、今や大阪学芸高等  
学校は、府下の私学に於いて確固たる地位を築くに  
至りました。これも同窓生の皆様によつて連續と培  
られてきた成績の証と、心より感謝申し上げます。

さて、少子化になかなか歯止めが掛からない状況  
下で、現在の私学を取り巻く情勢は嘗てなく厳しい  
ものがあります。加えて長引く経済不況は、「私学難  
れ」を加速させ、生徒・保護者は学費の安い公立高  
校への進学を選択する傾向がはつきりと現われてい  
ます。

「」(この)ことが入学生徒の確保に直結するかどうかは、学力レベルの設定や当該大学への進学保証の問題等と相俟つて一概に言えません。但し生徒・保護者のニーズを一つ読み進えると、いかにも有名大学と接続を結んでも修々たる卒業結果に終わってしまいますことは、既に実例として挙がっています。このよ  
うな厳しい情勢の元、本学園は「大学の冠」に頼ら  
ない真の実力を備えた学校づくりに邁進したいと考  
えます。

平成20年11月、理事会は「中長期経営計画」を発  
表しました。理事長就任に際して掲げた①「生徒・  
保護者が満足する学校づくり」②「教職員が誇り  
とやりがいを持つて働ける職場づくり」③「永続  
的な学園財政基盤の確立」の3つの目標を達成する  
ためには、「教育」と「経営」のバランスが求めら  
れます。私学は教育機関であると同時に経営を行な  
っています。「優れた教育内容に対する評価が安定  
的な生徒募集に繋がり、経営基盤を強固なものにす  
る」。端的に述べれば、この循環が学園に永続性を  
もたらすので、少子化」「経済不況」「補助金の削減」等、厳しい外的要因の中、本校の教育  
環境は着実に向上来続けていた一方で、財政の健全  
性を示す指標は低下傾向にありました。

ページを一新し、外部に向けた大変見易いサイトを設けました。若さに溢れた躍動感と、教育機関に相応しい上品さを併せ持ったホームページだと自負しています。こちらも是非ご覧ください。「母校の現在」を実感して戴けましたら幸いです。

具体的な生徒募集活動に当たっては、新たな取組みを実施します。「特技コースの設置」「理系クラスの定員増加」「1年留学制度の積極的実施」の3つです。

まず「特技コース」の設置ですが、このコースではスポーツ、文化・芸能その他の活動（地域・国際ボランティア、社会貢献など）において、特筆すべき特技を有する生徒を受け入れます。本校既存のクラブ種目に加え、シンクロ・将棋・バレエ・芸能など地域クラブ等で活躍する生徒達が、各自の特技を活かしながら進路を切り拓くことを目標とするコースです。特技コースの生徒が世界・全国レベルで活躍すれば、他の生徒達も学校に誇りを持ち、励みとなることでしょう。特技コースの設置で更なる学校の活性化を図り、学業のみならず技術にも秀でた人材を育成し、まさに「学芸」の名に相応しい学校を創造したいと考えます。

2つ目の「理系クラスの定員増加」ですが、特進理数コースのクラス数を従来の1クラスから3クラスに増やします。これにより、看護・医療・理工など、多選択化する理系コースや、国公立大学理系への進学希望に応えます。

3. 教職員が、生徒の満足を自らの喜びに引きる学園を創ります。

1. 学校教育を通じて、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。

2. 生徒が、何歳になつても誇りを持って語れる学園を創ります。

教職員が、実践者となるために、学園独自の研修制度を充実させました。研修会への参加を通じて、教職員自身が大阪学芸で働くことの意味を見つめ直す端緒にして欲しいと考えます。

また社会的に重要な課題になつている「環境問題」について、本学園は積極的に取り組みます。環境教育や環境改善の啓発活動を通じて、地域社会に貢献するとともに、地球環境を幅広い視野で捉えることができる人材を育成したいと考えます。具体的には生徒・教職員の環境意識を高めるために、環境省認証・登録を行なう「エコアクション21」への参画と環境活動開始宣言を行ないました。また太陽光発電パネルの設置計画、海外修学旅行に於ける環境学習など、様々な環境活動に取組む所存です。

3つ目の「1年留学制度」は、本校の大きな特色である国際教育をさらに充実・発展させるための制度です。本校の修学旅行・語学研修は合計6コースと、多彩なコース設定は他校の追随を許しません。1年留学制度では1年次の途中から2年次にかけての1年間、オーストラリア・カナダ等に留学し、当地の高校で勉強することにより、「確かな語学力と柔軟な国際感覚を持つ人材を育成する」とを目指しています。

以上のような新取組みを実施することで、本校の教育内容を一層充実させる所存です。

「中長期経営計画」では、21世紀における学園の

校の新たなチャレンジに是非ともご期待下さい。最後になりますが、大阪学芸高等学校と同窓会の連帯をより強固なものにするため、平成21年度より同窓会（成器会）は、「大阪学芸高等学校同窓会」（略称「成器会」）として組織改編を行ないました。やがて本校が発展を続けるために、今後とも同窓会の活動に亘って支援・協力を賜りたいと存じます。同窓生の皆様の一層の活躍と同窓会の益々の癡展を祈念致しまして、私の挨拶とさせて戴きます。

## 平成21年度 高等学校学事報告



校長

### 高橋峰和

平素は、同窓会の皆様から、本校の教育活動にご支援を賜り深く感謝申し上げます。おかげさまで、1400名を超える在校生の教育活動が順調に進んでいます。

私は、「大阪学芸 行動理念」の、「学校教育を通して、地域・社会からの信頼や期待に高い水準で応えられる学園を創ります。」の実現化に努めています。もとより微力ではございますが、全力投球で校務にあたっております。

(1) 教育活動  
生徒に提供する「教育の質」をいかに向上させるかに尽きます。  
他校にさきがけて導入した、生徒による「授業評価アンケート」、「学校満足度アンケート」(いずれ年間2回、同時実施)を教育改善に役立てています。

保護者満足度アンケート調査(年間1回実施)は、経費節減のため、外部発注をやめて、本校独自で実施することにしました。現在集計中です。

新型インフルエンザ感染防止のため延期した修学旅行・語学研修(2年)

生)を12月に実施しました。生徒・保護者からの満足度が高い行事です。参加生徒にとって有意義かつ楽しい旅行・研修になるように全力を挙げました。

### (2) 募集活動

少子化や不況により、私学を取り巻く状況は厳しいものがあります。募集活動を最重視して、鋭意取り組んでいます。

昨年に引き続いだ、中等教育学校と合同で学習塾対象入試説明会を10月2日(金)に、ホテル日航大阪で開催し、昨年を上回る学習塾の方の参加を得ました。

中学生・保護者の新たなニーズに応えるために、第5番目のコースとして、「特技コース」を立ち上げます。スポーツ・文化・芸能で優れた生徒を専願受験で集めたいと思います。

募集活動の成否は、先輩諸氏、卒業生(同窓生)、本校在校生、中学校・学習塾関係者の「口コミ宣伝」による所が大きいといえます。同窓会員の皆様のご支援をお願いいたします。

### (3) 同窓会・幹事の選出

同窓会「会則」が改正されて、常任幹事会を開催することが義務づけられました。昭和60年度卒業生以降、常任幹事が決めてなかつたので、旧担任の協力を得て、選出にこゝれ努めています。新しいメンバーの参加で、同窓会活動がいつそう活性化することを期待しています。

## 平成21年度 P.T.A.活動の報告



P.T.A.会長

### 中津 準

7月：P.T.A.ボーリング大会 (杭全ボウル)	9月：P.T.A.バザー
10月：P.T.A.社会見学 (京都・保津川下り、他)	11月：進路説明会 (三年、二年、一年)
12月：P.T.A.会員懇親会 (学芸高校文化祭内)	1月：新年会 (京都・保津川下り、他)
3月：卒業式、入学式等	4月：春の学芸高校同窓会(成器会)
5月：P.T.A.新聞「きずな」を年三回発行します。また、卒業生には記念品を贈呈し、学校には卒業記念品を贈ることにしています。	6月：P.T.A.ボーリング大会 (杭全ボウル)

同窓会の皆様には、常日頃より大変、お世話になり厚くお礼申し上げます。

春の学芸高校同窓会(成器会)にお招きいただきありがとうございます。

五月より新年度P.T.A.会長に就任

し、新年度役員と共に一丸となりP.T.A.活動に従事しております。おかげさ

A活動に従事しております。おかげさ

まで多くの行事も盛況で本当に役員一

同、安心している次第です。多くの行

事は終了し下半期の行事を残すのみと

なりました。

残された行事も精一杯、取り組んで

いく所存です。どうぞよろしくお願い

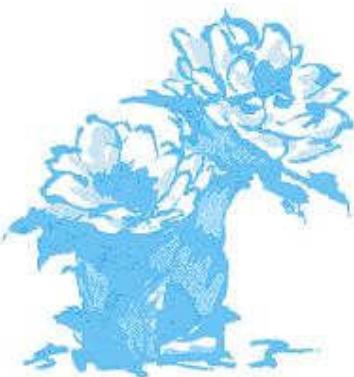
します。

以下に本年度のP.T.A.活動(十一月

まで)の概要を報告いたします。

平成21年度  
5月：P.T.A.総会  
新旧役員懇親会  
(スイスホテル)

6月：大学見学会  
(関西学院大学、甲南大学)





# 行 事 報 告

## 定期総会・懇親会

平成二十一年度

副会長 潤 良介

### 審議事項

- 一、平成二十一年度行事計画（案）足立好一副会长
- 二、平成二十一年度予算（案）井原第二副会长兼会計
- 三、役員改選 会計監事一名候員の提案があり卒業生一名本田重彦、学校側一名鈴木清先生が承認されました。

総会  
平成二十一年五月十六日（土）午後四時より道頓堀ホテルに於いて今年は久し振りに昨年を大きく上回る七十名余りの大勢の出席者の下盛大に定期総会が開催されました。

司会者の仲西晃輔会長の開会宣言で始まり和田貞夫会長より挨拶があり前・井内博見理事長から会長を引継ぎ、理事長を選任の節は次の会長を井内氏に引き継ぐ約束が故人になられた為私が会長を留任しているとの説明がありました。

又学校法人側との話し合いについての説明もありました。学園側より武田一仁副校長より規約改正により、平成二十一年度卒業生より四六八名全員同窓会に加入有りその他進学状況、学事報告等の説明並びに「挨拶を受けました。  
議長は澤良介副会長、副議長に田中敏文園会長が選出されました。

### 報告事項

- 一、平成二十年度行事報告 西野仁彦副会長

- 懇親会  
総会に続き、午後六時より懇親会が開催されました。
- 米田耕作副会長に宴会を仕切つて頂き統いて藤井昭三顧問の若者頗負けの元気を頂ける乾杯の音頭で宴が始まり、何時ものビンゴゲームを楽しんだり先生方も同窓会と一緒になりお酒の酔いが回るに連れて学生時代に戻り思い出話で花が咲きおひらきの時間が迫り懇親会も無事終了致しました。



平成21年度 総会出席者

## 高野山普賢院一泊と

### 雲之上温泉旅行

副会長 西野仁彦

今年も恒例の普賢院一泊旅行が八月八日

(土) 九日(日)で執り行なわれました。

昨年まで、ご一緒していた、故 山本和光先生の御遺族の方、お孫さんを含めて七名の参加があり、又、始めての参加者も数名おられ、総勢二十六名と賑やかな楽しい会となりました。

夕食時の会長挨拶では、「当院主の御祖父」



高野山普賢院 出席者

さん」あたる、森寛経師(一部七期生、高野山金剛峯寺元管長)が、かつて、「私の今あるのは、成器商業のおかけだ」と云つておられたと紹介し、戦前の成器商業学校には、二部が一部と同じ条件で勉強できる様になつていて多くの勤労学生に喜ばれ、一部に劣らず優秀な人材を数多く輩出した」と語られた。学園を代表して、赤井理事の挨拶の後、足立副会長の乾杯と和やかに時の経つのを忘れる宴が始まった。

翌朝は残念ながら大雨となり、早朝からの勤行。仏塔下に安置されている仏舎利に手を合せ、お祈りをさせて頂いた後、いざ記念撮影となると庭での撮影は出来ず、廊下に並んで戴いての写真となつた。

例年通り数珠屋四郎兵衛 土産物店のバスにて、奥の院のほん近く御廟橋横まで送って頂き、奥の院を参拝、中の橋への帰途、普賢院のお坊さんの読経の中、学園関係物故者の慰靈碑に参拝するも大雨で足もとぼとぼとなり、焼香もできず手を合すだけとなつた。

今年、初めて行く雲之上温泉、ホテル開雲莊は、立里荒神社の近くにあり、高野山よりも高く、見晴しの良い所で、良く晴れていれば、大峯、大台の山々も見渡せるとの事残念ながら雨は上っていた様だが、ガスがいっぽいで雲の上ならず雲の中にいるありさま。數名は立里荒神社へお参りしたが、大半はホテルへ直行、風呂よし、食事よし、のんびりとした時間を持ち、命の洗濯が出来たようであつた。又、皆が来年も雲之上温泉へ来ようと云うことになった。この様にすばらしい、温泉を見付けて下さった、久米先輩に感謝しつつ、帰路についた。

平成二十一年度

## 秋季懇親会開催

書記 甘佐勝

平成二十一年十一月十一日(土)午後五時三十分よりニューミュンヘン大使館

に於いて七十三名の出席のもと秋季懇親会が開催されました。

ご来賓として学園から岡本利雄理事長、高橋峰和学校長、理事の先生方、PTA副

会長川野善之様の出席を戴きました。

定刻通り司会者の西野仁彦副会長から開

会宣言され、物故者默祷に続き、和田貞夫会長挨拶、岡本利雄理事長挨拶、高橋峰和学校長より学事報告、PTA副会長川野善之様の挨拶を頂き、直ちに記念写真撮影を済ませ、続いて藤井昭三顧問の乾杯の音頭で宴会に入り、各テーブルからも笑顔がはじけ、時の経つのも忘れて楽しい一時を過ごし、又来年も多数の出席者を期待し、校歌の大合唱、万歳三唱し、足立好一副会長の閉会の挨拶で無事幕を閉じました。



秋季懇親会出席者

# 懐かしい先生の消息

<p><b>立山 清志 先生</b> 平成13年3月退職 (73歳)</p> <p>地域のコーラスグループ「かがたポーチュ」に加入遅1回(木曜日)の練習。市主催の秋の文化祭に参加。平成21年5月には独自のコンサートを開き市民文化ホールを満席にした。</p>	<p><b>吉見 元芳 先生</b> 平成13年3月退職 (68歳)</p> 	<p><b>谷口 隆 先生</b> 平成13年9月退職 (64歳)</p> <p>我が愛する母校「成器」(大阪学芸)を退職し、早や8年。一日足りとも「成器」を忘れたことはありません。先日、教え子が我が家に集ってくれ「私はずっとお前の先生だ。母校を誇りに胸張って生きろ!」と宣誓し、「先生と会えて勇気が湧いてきた」と喜んで帰る教え子の後姿に「幸せあれ!」を念じる小生は今も「先生をやっているんだ」と実感しました。平素は午前中尊敬する偉人からいただいた司馬遼太郎の「空海の風景」(上下巻)を読書し、宗教家、思想家、哲学者として弘法大師を思いやる毎日です。</p>
<p><b>田中 康年 先生</b> (68歳)</p> <p>平成13年3月退職(教諭) 平成18年3月退職(特別講師)</p> <p>H16.5にホームページを立ち上げ、泉州を中心とした花の写真集をUPしています。たまには他府県にも遠征します。 HPアドレス <a href="http://www.87gyarari.net">http://www.87gyarari.net</a> またH19.6から岸和田市の少し山手で120坪の農地を借り菜園を始めました。菜園の花もHPにUPして楽しんでいます。</p>	<p><b>渡辺 敏男 先生</b> 平成14年8月退職 (62歳)</p> <p>前略 在職中は大変お世話になりました。現在は、地元で高校生に英語を指導致しております。一人でも多くの生徒に大学合格のようごびを与えたく思い小さな私塾を主宰しております。</p>	<p><b>鈴木 克爾 先生</b> 平成17年3月退職 (66歳)</p> <p>現在、単身赴任で福知山に居て、キャリアカウンセラーの仕事をしています。</p> 
<p><b>猪瀬 正雄 先生</b> 平成18年3月退職 (64歳)</p> <p>退職1年目は、高校と中等をかけ持ちで講師として授業する傍ら、中等の軟式野球部の顧問もやつて大変多忙でしたが、2年目からは高校のみでクラブからも離れ時間にゆとりができました。以前より長年にわたりやってきた物理・数学・絵画・切り絵・紙切り・落書きで市民講座やチャリティーイベントで多忙な日々を過しています。</p>	<p><b>尾崎 直夫 先生</b> 平成18年3月退職 (62歳)</p> <p>現在大阪学芸高校にて特別講師として頑張っています。</p> 	<p><b>北原 祥弘 先生</b> 平成18年3月退職 (63歳)</p> <p>大阪学芸高等学校非常勤講師を務めています。(音楽科) 吹奏楽部のクラブ技術指導を担当。 校外では 大阪府吹奏楽連盟 副理事長 関西吹奏楽連盟 理事 を務め吹奏楽コンクール等、幅広く活動しております。平成23年3月でどうなることかわかりませんが、2度目の退職となります。 吹奏楽部の後継者作りは、上手くいかず、ひじょうに心配しております。</p>
<p><b>岩田 好実 先生</b> 平成20年3月退職 (49歳)</p> <p>大阪学芸高等学校では、5年間お世話になりました。 現在は、関西大学北陽高等学校で、非常勤として教壇に立っておりまます。 今後、ますます、御校がご発展されますことを、祈っております。</p>	<p><b>山本 寿弘 先生</b> 平成20年3月退職 (62歳)</p> <p>嘱託として現在大阪学芸高等学校に勤めています。</p> 	<p><b>鍋谷 安宏 先生</b> 平成21年3月退職 (66歳)</p> <p>平成21年3月末日をもちまして大阪学芸高等学校を定年退職。 現在、健康管理を第1に、テレビ体操やスポーツセンター通いの日々です。他に料理講習、のんびり窓知り過ごしたり、旅行や趣味の詩吟をもとに詩吟教室、五泉吟詠部の活動、第12回五泉吟詠會の開催など第2の人生を楽しんでおります。</p> <p><b>先生方の住所や電話番号を知りたい方は学園事務局または鈴木清先生にお問い合わせ下さい。</b></p> <p>TEL 06(6693)6301 FAX 06(6693)5173</p>

返信はがきが届いた分のみ掲載しました



# 先生お元気ですか!

## 藤本 恭作 先生 昭和36年3月退職 (73歳)

平成8年に大阪府立佐野高校長を退職、平成18年まで私立の大学に勤務し、その後は毎日が日曜日の生活を過しています。さて、私が校長として最後に勤務した学校の現在の校長先生が本校の卒業生であるM氏であることを知り、本校との縁を強く感じるとともに鈴木校長先生を始めとする諸先生方や生徒諸君の活躍とした動きまで当時のことを鮮やかに思い出しています。本校では今も創立以来の精神が脈々と受け継がれていること思います。最後に本校の益々の発展をお祈りしております。



## 久保井 正三 先生 昭和42年3月退職 (76歳)

1. 後期高齢者となりました。
2. 職業は公認会計士・税理士ですが開店休業です。
3. 前立腺癌手術から9年、肺膜癌手術から6年経過しました。外見はまったく大病をしたように見えません。
4. 毎日元気で1時間程度のウォーキングを楽しんでいます。

## 古賀 廉一 先生 昭和49年3月退職 (63歳)

現在府立相高等学校にて講師としてがんばっています。



## 中路 悟 先生 昭和50年3月退職 (65歳)

今は退職し、野菜作りに励んでいます。大阪学芸高校に7年勤めました。(旧成器高校)



## 楠橋 伊左夫 先生 昭和50年3月退職 (68歳)



## 依田 吉野 先生 昭和60年3月退職 (81歳)

紅葉の美しい季節となりました。本日はお葉書ありがとうございました。私も81才、相変らず太っております。右足膝関節が痛く、歩行の不自由を感じていますが、知人と一緒にマイカーの旅を楽しんであります。皆様お元気にお過し下さい。

## 笹岡 恵一 先生 (82歳にて死去)

会報誌発刊のお知らせありがとうございます。残念ながら本人は平成16年10月11日に死去致しました。御校の事、特になつかしく思っているようでした。皆様の御厚情に感謝します。

妻 明子

## 村上 芳夫 先生 平成2年3月退職 (80歳)

肺癌のため入院をくりかえして居ります。



## 川岸 春夫 先生 平成7年3月退職 (74歳)

退職後、毎日近くの公園を歩く毎日を過ごしています。



## 前川 啓治 先生 平成9年3月退職 (55歳)

大阪女子高等学校  
非常勤講師  
「情報A」「簿記」「原価計算」を教えています。



## 久米 藤馬 先生 平成10年4月退職 (74歳)

平成13年より社団法人大阪スポーツマンクラブで第2の人生を送っています。又大阪市の指定管理制度の関係で駒テニスセンターの管理をしています。日本でも歴史あるテニスコートです。楽しく働いています。テニスに関心のある方は来て下さい。

## 渋谷 和彦 先生 平成10年3月退職 (81歳)

教育関係の最後の数年を成器から大阪学芸に学園が変更する熱気の中で過ごすことが出来たことを有難く思っています。最近耳が遠くなり足が弱くなりました。が知的な好奇心は衰えず、各種の催物、講演会、音楽会、美術館、旅行、パズルなど結構忙しく過ごしています。

## 内藤 隆富 先生 平成12年3月退職 (43歳)

大阪府立藤井寺支援学校に首席として勤務しています。



## 野田 和男 先生 平成12年3月退職 (68歳)

退職後9年、宗教者として活動して居ります。退職時はのんびり出来ると思っていましたが、ここ数年は色々な役がまわって来て「晴耕雨読」とはいかなくなってしまった。又、体力的にも以前とは違うなと感じる此の頃です。

## 田中 敏文 先生 平成13年3月退職 (55歳)

H13.3.31 (5年間)  
大阪学芸高等学校退職  
H13.4.1～現在に至る  
大商学園高等学校勤務  
勤務年数：8年  
公務分掌：総務部所属以上

返信はがきが届いた分のみ掲載しました

## 吹奏楽部OB会活動報告

吹奏楽OB会事務局次長

寺西祐介（平成11年3月卒業）

私たち大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会は、「卒業生同士の親睦」と「吹奏楽部の発展向上」を目的に、高校時代の3年間を吹奏楽部で過ごした仲間が集まり活動している有志の会です。現在の会員数は444名、最近では女性の卒業生も多く参加するようになりますとともに、運営メンバーの世代交代が進み、これまでにない「新しい風」が入りつつあります。

それを象徴するのが新しい運営メンバーの提案で、昨年から運用を開始した電子メールによる情報提供です。これは、吹奏楽部の演奏会や卒業生の音楽活動を事前に電子メールで会員へ知らせるというので、これまでの郵送のみのお知らせに比べ、多くの情報をタイミング良く伝えられるようになります。最近、それまであまり顔を見ることのなかった卒業生を様々な行事

で見かけられるようになつたのは、こいつた形での情報提供を始めた成果であるように思います。

そんな私たちの今年度の活動は、5月17日に行われた住吉区民センターでの定期総会ではじまりました。定期会

総会では、運営方針や予算についての激論が交わされ、卒業生の後輩部員たちへの熱い思いを垣間見たように思います。そして秋らしくなった9月26日、浜寺公園での親睦バーベキューを開催しました。お仕事・勉学と忙しいなかにも関わらず多くの卒業生が集まり、秋風の中で懐かしい仲間との食事を楽しみました。また、吹奏楽部の活動がひと段落した11月14日には、後輩部員の技術向上を目的とした校内アンサンブルコンテストと卒業生を対象とした行事「楽器を吹こう！」を開催いたしました。今回で11回目となる本コンテストには、当日の運営の手伝いや後輩部員たちの演奏を聴くために、今年も多くの卒業生や保護者の方が母校に足を運んでくださいました。

それを象徴するのが新しい運営メンバーの提案で、昨年から運用を開始した電子メールによる情報提供です。これは、吹奏楽部の演奏会や卒業生の音楽活動を事前に電子メールで会員へ知らせるというので、これまでの郵送のみのお知らせに比べ、多くの情報を



後の活動のあり方です。

40年の長きにわたり、吹奏楽部を指導してこられた北原先生が母校を退職され、卒業生の中からは吹奏楽部の存続を危ぶむ極端な声も聞かれるようになりました。現在、吹奏楽部の日常的な運営については、顧問の先生方のご尽力により円滑な運営が行われ特段の心配はありませんが、音楽面での技術指導やコンクールなど外部での演奏の指揮は、母校に音楽の専任教諭があら

れないため退職された北原先生が、これを務めておられるのが実状です。多くの演奏者をまとめる指揮者（指導者）には、瞬時に演奏の状況を判断できる能力や幅広い音楽的知識が求められます。これらを得るために、一定の期間をかけて音楽についての研鑽を積むことが必要です。部活動以外にも日々の授業や校務などを忙しそうにこなしておられる現在の顧問の先生方が、そういった期間を経られ、演奏の指揮や技術面での「指導をいただけるまでには、相当の期間を要するのではないか」と個人的には感じております。私たち吹奏楽部OB会は、今後も母校の吹奏楽部の発展向上ための活動を継続してまいりますが、母校におかれましては充実した部活動を展開していくための環境整備に、より一層取り組んでいただけますよう希望する次第です。

最後となりましたが、いつも我々の活動にいろいろとご配慮くださる同窓会役員の方々に感謝申し上げるとともに、同窓会会員の皆様には、同窓会会員の皆様には、今後も吹奏楽部OB会の活動に対する理解と支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 後輩部員とともに歩む日々

### 吹奏楽部OB会

#### 吹奏楽団の活動

大阪学芸高等学校吹奏楽部OB会吹奏楽団  
団長 徳岡 大輔（平成13年3月卒業）

この期間をかけて音楽についての研鑽を積むことが必要です。部活動以外にも日々の授業や校務などを忙しそうにこなしておられる現在の顧問の先生方が、そういった期間を経られ、演奏の指揮や技術面での「指導をいただけるまでには、相当の期間を要するのではないか」と個人的には感じております。私たち吹奏楽部OB会は、今後も母校の吹奏楽部の発展向上ための活動を継続してまいりますが、母校におかれましては充実した部活動を展開していくための環境整備に、より一層取り組んでいただけますよう希望する次第です。

最後となりましたが、いつも我々の活動にいろいろとご配慮くださる同窓会役員の方々に感謝申し上げるとともに、同窓会会員の皆様には、今後も吹奏楽部OB会の活動に対する理解と支援を賜りますようお願い申し上げます。

の思いが原動力となり、平成13年に結成されました。そのため、私たちは顧問の先生方の「理解と」協力のもと母校の音楽室を日々の練習拠点とし、後輩部員たちと一緒に日々の練習に励むとともに、「JR難波駅前OCA」「ポンテ

広場で行うスプリングコンサート」とオーラムコンサートや冒頭にも触れました本格的なホールでの定期演奏会など様々な演奏活動を展開しております。

このように、後輩部員たちと一緒に音楽活動を進めて行くなかで、最近とくに感じるのは吹奏楽部が所有する楽器の老朽化です。吹奏楽部が所有する多くの楽器は、新しいものでも購入から十数年を経ており、多くの楽器で故障が頻発し、「これらの修理費が吹奏楽部の活動費を圧迫しております。しかし、楽器

はその一つ一つが数十万円と高価であるため、吹奏楽部の年間予算が以前に比べて大きく制限されたなかで、「買替え」という根本的な解決を図るのは難しいのが現状です。私は、この問題を解決するために、団員数を増やし活動資金を増やすことで、団員と吹奏楽部の需要を少しでも満たせるようにしていきたいと考えております。

### 第4回 定期演奏会



# 活躍

# しています

## 男子テニス部

部員数 22人



コートは女子テニス部と併用しているので、週に3~5回しか使えませんが、基礎を中心にして集中して練習に取り組んでいます。コートを使用できない日はフィジカルトレーニングなどをしています。試合で1勝でも多くできるように日々頑張って練習をしています。ぜひ、気軽に体験しに来てみて下さい！

## 男子バレーボール部

部員数 11人



ボク達11人で、日々厳しい練習をしています。最近の試合などで自分達の弱点が分かった部分を修正しています。何しろ初心者が多いチームなので、基礎を積み重ねています。でも、基礎がしっかりすれば、多彩なコンビバレーガーができると思います。今は、近畿大会出場を目指して頑張っています！ 皆さん応援よろしくお願いします。

主将 藤井 章仁

月曜は南館体育館、火・木・土・日曜は本館体育館、水・金曜トレーニング、土曜は前半は南館、後半は本館体育館で基礎練習をしています。日曜は練習試合をできればしています。部員は3年2人、2年7人、マネージャー2人、コーチ1人の計12名で、日々練習で励んでいます。練習内容は一つ一つ基礎をしつかり練習しています。

☆秋季部別リーグ戦2部昇格

## 男子バスケットボール部

部員数 23人

基本は月・水・金・土曜日は体育館で、木曜日は外練と南館です。日曜は半日練習です。

部員は21名が選手で2名がマネージャーで毎日頑張っています。

現在春のインターハイ予選にむけて、厳しい練習に励んでいます。ぼくたち2年生にとって最後の大会なので一日一日大切にしていきたいです。



## 女子バレーボール部

部員数 15人



初心者でも大歓迎です。見学にぜひ一度、来てください。主将 花村麻衣子

練習は主に本館または南館の体育館にて、また体育館を使用できない日は筋力トレーニングをしています。基礎練習からゲーム形式などの実戦練習まで、毎日全員が一丸となって練習を取り組んでいます。

☆2008年度大阪高校新人大会（部別リーグ戦）  
1部昇格

# 私達クラブ活動で



部員数 69人  
マネージャー9人

今年度春期大会  
1回戦突破

適材適所をモットーに体格や性格、運動能力に合わせたポジションで練習メニューを立てています。またアメフトは頭を使う(フォーメーションなど)スポーツなので、普段からの勉強を大切にしています。休みの日には他校へ練習試合に行ったり、公式試合は主に万博に行って試合をしたりしています。夏休みには1週間の合宿を行います。



写真撮影した人：下永 雄司（3-5）

かわいい  
女子マネージャー

部員数 14人

パソコン部



活動日は、毎週月曜・木曜日の放課後です。インターネットやパソコン検定など、部員それぞれが自分の目標を決めて取り組んでいます。

☆プレゼン甲子園2008

問題分析賞受賞



パソコン部といえば暗いイメージがあると思いますが、男女仲がとても良く、笑顔が絶えない楽しい部活です。ちょっとでも気になったら、見学してみてください。

部長 森本匠

美術部

部員数 16人

美術部では、油彩や透明水彩などに取り組んでいます。初心者もたくさん入部してきましたが、基礎のデッサンから始めて油彩を描けるようになっています。その結果下記の実績を残すことができました。

第21回生徒会「ひらけ天井」で、優秀賞2名  
第21回生徒会「山と川」大賞、准賞各1名  
第29回大規模な繪画展で佳作賞  
美術、工芸部門コンクールで1月入賞3名  
国際色文化祭、奈良マーチマラソン  
<http://www.narai-shi.ed.jp/culture/school/sanpo/index.htm>



毎年4月中旬に行われるクラブオリエンテーションの実施日から1週間ほど、本校玄関ホールで新入生歓迎展を開催いたします。また、西館1階には現役および卒業生の作品を展示していますので、学校にお立ち寄りの折は、合わせて鑑賞してください。

部員数 46人

吹奏楽部



私たち吹奏楽部は、練習場所が限られているなか毎日練習に励んでいます。今は、3月末に行われる第22回定期演奏会や、夏に行われるコンクールに向けて、みなで力をあわせて練習しています。

私たちは「礼儀正しく」「素直に」「努力せよ」この三つをモットーに日々練習に取り組んでいます。部員がまだ足りないので、初心者の人も楽器に興味がある人も、是非一度、音楽室へ来てみてください。



## 女子テニス部

部員数 15人

月曜日と火曜日は、屋上スポーツコートで、水曜日は、男テニと交代で木曜日と金曜日は長居で走ったり、トレーニングをしたりしています。

試合に一つでも多く勝つために、毎日練習に励んでいます。夏は、合宿に行き、テニスに集中できる環境を作ってもらっています。

1年生5人、2年生10人でテニスを楽しみながら毎日やっています。

15人皆、仲良く、4月の引退に向けて、1人でも予選優勝できるように頑張ってます。



部員数 11人

月・水・金・日曜日は本館の体育館で練習しています。火曜日はオフの日で、木曜日は長居公園を走りに行ったり、筋トレをしたり、南館体育館でしています。土曜日はバレー部と前半、後半に分かれて両方の体育館で練習しています。

私たちは2年生6人、1年生5人という少ない人数ですが、毎日頑張っています。顧問の堀谷先生も一緒に練習に入ったりしてくださって楽しく練習しています。大会では3回戦突破したことがないでので、春の大会では3回戦突破を目標にし、これからも頑張っていきたいです。



## 空手道部

部員数 14人

月曜日～金曜日は、主に基盤的な練習をしています。土・日は筋トレやトレーニングなどといった練習も加えています。練習試合が入ったりもします。大会前になると、実戦的な練習になります。

今年も男女とも、全国大会に出場しました。



僕たち空手道部は、礼儀作法を重んじ、日々目標に向かって一生尊命に取り組んでいます。練習はしんどいですが、先生も練習に入ったりして楽しくやっています。今年も女子が、全国大会に出場しました。ほとんどが経験者だと思われがちですが、半分以上が初心者から始めてるので、安心して入部してください。興味がある人は、ぜひ格技室に来てください。

主将 今中一貴



部員数 39人

月・火・金・土曜日は本校のグラウンドで練習しています。水曜日は長居公園でランニング、木曜日は外部のグラウンドを使用しています。その他、適宜、朝練や自主練があります。本校での練習は人工芝グラウンドであるため、雨天であっても行います。

日曜日は対外試合が多く、2月末まで35試合を行いました。

☆泉北カップ08優勝（8チーム中）



現在、インターハイ予選に向けて、毎日一生懸命、練習に取り組んでいます。本校では4月に引退してしまったマサギ教員あります。サッカー部は昌平の選手権予選準決勝で勝つて、その後で興味あることを自らに日々努力しています。

主将 出原一貴

## 野球部



部員数 40人

月・木・土は学校にて、日曜は河南グランドにて練習試合をしています。

この秋から投手・内野・外野手に別れて早朝練習、ウエイトトレーニングを取り入れています。



大阪一を目指して  
全員頑張ります  
生徒 佐藤



女子マネージャー

## 柔道部

部員数 18人

礼法・受け身・寝技・乱取り等の基礎から、練習試合の実践形式の練習を放課後、本館4階格技室にてしています。全国大会大阪府予選や高校総体に出場しています。



柔道部では精神面や忍耐力を鍛えることが出来ます。人数は少ないですが集中して、日々練習しています。ぜひ覗いてください。体験歓迎! 主将 山内

## 放送部

部員数 11人

文化祭では放送劇『愛がはじまるこの場所で』を熱演しました。また9月18日昼には毎日放送『よゐこ部』取材と一緒にラジオドラマに挑戦しました。部員の台本で共演し楽しい夢のような体験をさせてもらいました。



生徒会委員の時も頑張っていました。また、よゐこ部に出演、プロの放送の内容と一つの作品を作ることができて楽しい時間を過ごしました。 部長 田中

## 写真部

部員数 5人

### 活動内容

学校行事の撮影  
文化祭での作品展示  
撮影会など



体育祭：鹿角 智大(2-15)撮影

体育祭などの行事でクラスごとに団結して頑張っている姿などを撮る時の角度やタイミングを考えること、撮影の緊張感、それらが撮る側としての写真の楽しさの一つだと思います。

2年2組 柳 緑沙美



'09  
MADONNA CUP  
in伊予市  
2009.08.26

# ビーチバレー 全国大会出場!



北口 習香 道水 梨佐

女子バレー部2年の北口智香選手と速水梨佐選手がピーチバレー大阪大会を勝ち進み、全国大会に出場しました。全国大会では1回戦、群馬にセットカウント2-0で勝ち、決勝トーナメントに進みました。決勝トーナメントでは2回戦で京都府代表に0-2で負け2回戦敗退。全国ベスト32という結果となりました。



監督 筆本 清

## 各試合の結果

## ★21年度ピーチバレー大阪高校女子選手権(大阪大会)★



## ★ビーチバレー・ジャパン女子ジュニア選手権大会(全国大会)★

そろそろ七十歳に近づきます。皆様へ  
余年を楽しむましょう。お待ちしております。



## 卒業五十周年を祝う会

同慈生短信

（改）過去の通知を頂いた方々のおかれ  
前と卒業年次を掲載し、故人のご  
冥福を祈るとともに「同窓生各位」  
お知らせします。

# 久 琢磨先輩

の生涯を閉じた。

あとがき

明治28年11月3日高知県安芸郡佐喜浜村字根丸（現在の室戸市）に生まれ、大正4年に成器商業学校を卒業した。成器商業時代は相撲部主将として活躍し、その名を全国に轟かせた。その後神戸高商（現・神戸大）に進学、相撲部に入部して石井光次郎（昭和42年衆議院議長に就任）と出会った。

持ち前の真面目さと努力で活躍し、神戸高商相撲部の黄金時代のさきがけとなつた。

大正8年から堺市大浜で始まつた全国学生相撲選手権大会の創設者の一人として崇められ、昭和40年に財団法人日本相撲連盟より名誉賞を授与された。堺・大浜は学生相撲の発祥の地、メック力として大会は現在もつづいている。

神戸高商卒業後は鉢木商店（戦前の財閥系）を経て朝日新聞社に入社した。

昭和9年、大阪朝日新聞社で庶務部長の重職にいた久は、石井光次郎の紹介で東京の横芝盛平を招聘し大東流合気柔術を学ぶ事となり、昭和18年同新聞社を退職するまで修行した。久は昭和14年3月26日武田惣角（大東流合気柔術の中興の祖）より大東流の免許皆伝を授与された。久琢磨の功績は現在「琢磨会」として日本国内に留まらず海外にも支部が生まれ、その数50以上に達する。昭和55年10月31日神戸で文武両道の道を歩んだ84才

久は成器商業の入学試験を受けると、どういふわけか二年に編入された。四月入学し早くも一学期の試験となつた。父の不慮の死で学校を中退して、いた後は不安が募つたが、一生懸命勉強した。どのくらいできたのかわからぬが、3クラスの約百名中「一番、久琢磨」と発表され驚いた。と青春時代を語つている。成器商業時代2年生時（17歳・大正2年）靖国神社で開催された東西対抗相撲大会（関東対関西）に中学生で唯一一人出場。東西学生選抜選手（東西各30名）に選抜され活躍して賞賛された。

この頃から「成器の久」「相撲の成器」と全国で呼ばれるようになつた。

武道は相撲八段、大東流合気柔術免許皆伝、他に剣道、柔道にも優れ、スポーツはスキー、ゴルフ（六十を過ぎてもハンドティリ）、グライダー操縦などにもすばらしい実力を示した。「相撲を稽古するくらいの覚悟でやればゴルフの練習など「ヘンチャラ」だと、言って、毎日五時間も六時間も練習をして、シングルになつたそうだ。

\*久琢磨（琢磨会）ホームページ及び秘伝（BABジャパン）1997年2月号「久琢磨の青春、学生相撲百年の歩み（西日本学生相撲連盟発行）等を参考及び抜粋しました。（敬称略御免）

（元

西日本学生相撲連盟理事長  
編集 副会長 仲西 晃

# 琢磨会元総長 久 琢磨

大東流合気柔術  
関西普及の功労者



## 卒業生の総意と力で管理しよう 「学園関係物故者慰靈碑」を

本校の創立一〇〇周年を記念して同窓会では、「成器学園・大阪学芸関係物故者慰靈碑」を大先輩である森寛紹元高野山金剛峯寺管長の関係で普賢院の大変なご協力を戴き、平成18年に高野山聖地に建立致しました。卒業生約三万人を始め教職員、PTA、歴代学園役員等学園関係者の合同慰靈碑です。以来毎年八月に実施している、高野山一泊旅行の参加者によって慰靈碑前で法要を行っています。昨年一月に逝去されました元教員の山本和光先生の遺骨は本年遺族（コズ夫人）の手によって、この慰靈碑に納骨されることになりました。又元府会議員の藤井昭三（二部31期）氏夫妻も将来納骨を希望されています。

### 「学園関係物故者慰靈碑」管理委員会

委員長 和田 貞夫

管理委員	田仲 弘義	足立 好一	久米 雅男	川田 峰夫（昭和20年卒）
仲西 光三	上野寅次郎	西野 仁彦	井原 靖二	高橋 和明（旧教職員）
松村 晃清	米田 耕作	松田 和人	鈴木 康之	中泉 市
鈴木 敏文	北村 裕次	高木 甘佐	良介	廣田 一成（昭和62年卒）
				高木 忠幸（昭和36年卒）

慰靈碑

募金の申込み方法  
一口一万円としていますが何口でも結構です。又一万円以内でも結構です。同封の払込取扱票で払込んで下さい。  
(十万円以上の寄付者にはご芳名を刻し、慰靈碑建立場所に標記します)

平成二十年十一月一日以降平成二十一年十一月三十日までの受付分寄付者十名 金二十七万七千円也の温かいご協力を戴いております。深く感謝の意を表し、改めて厚く御礼申し上げます。

（敬称略・到着順）

畠中善三郎（昭和17年卒）奈  
畠畠田忠次良（昭和10年卒）神  
吉田 積吉（昭和19年卒）羽曳  
久米 藤馬（旧教職員）大阪市住吉区  
戸良 野



### 慰靈碑管理基金 寄付者芳名録



## 同窓会募金について ご支援方お願い

平素は、大阪学芸高等学校同窓会（成器会）に対し物心両面に限り、温かいご支援を賜り、有難く厚く御礼申上げます。

平成二十一年度(平成二十年十一月一日～平成二十一年十一月三十日まで) 募金事業は募金者数(五十一名) 金額(四十四万九千円)に達する多額の「寄付をお寄せ頂きました。」  
この募金にご協力頂きました方々の「芳名を下記に記載させて頂きました。」  
ここに改めて深く感謝の意を表します。

既に、「ご承知の通り金融・経済危機が深刻さを増し、原油価格の影響が大きい（ガソリンや電気・ガス料金等）が下落し、足元の原油価格は上昇傾向にあるが前年に比べれば低い水準で物価全体を押し上げ続けており、その反動で企業の収益が減り雇用・所得環境が悪化する「正フレ」の悪循環の中で募金の集まりが悪くなる傾向にあるのも致し方ないと思われますが、私たちの私学をとりまく情勢は、少子化が進む中で生き残りを賭けた大学との連携・提携・系列化の動きが活発化され、再編の時代に入りし、今後さらに「加速」が予想され存続にかかわります。これと並んで、同様の問題による発展と同時に生じる

同窓会報を通して母校と同窓生との絆をしっかりと結びつけ、可能な限り募金活動を続けて実施致します。

この会報を全同窓生にお届けすることで、最近の学園の意気盛んな様子と他校の羨望的的となつてゐることを知つてもらい、母校への关心を高めて頂き、同時に同窓会活動にもご理解とご協力を得たいと考えております。

平成八年度からは、年会費もお願いし、これからも貢献努力で会報の発行を継続するため同窓会各会員の積極的なご支援、同窓会活動の活性化、財政の健全化及び会報継続発行等々に資するため、何卒ご理解を賜り、ご協力ご支援の程、宜しくお願ひ申し上げます。

函館市立  
田中敏彦

**温かいご寄付に感謝します**

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）・募金事業へのご支援を本会報を通じ、同窓会の皆様にお願いいたしましたところ、多数の皆様から温かいご寄付を頂戴いたしております。ここにご芳名を掲げ感謝の意を表します。

寄付者  
五十二名

井上佐治郎	(昭和42年卒)	高石市
達夫	(昭和43年卒)	大阪市阿倍野区
一成	(昭和62年卒)	大阪市住之江区
裕次	(昭和63年卒)	堺市
義磨	(昭和24年卒)	大和郡山市中区
定矣	(昭和32年卒)	大和郡山市
弘光	(昭和33年卒)	愛知県清須市
良造	(昭和33年卒)	田辺市
俊郎	(昭和33年卒)	京都市
明司	(昭和33年卒)	大阪市中央区
大迫	(昭和37年卒)	岡山市
高田	(昭和37年卒)	市北区
森田	(昭和37年卒)	市北区
谷口	(昭和37年卒)	市北区
青山	(昭和37年卒)	市北区
堂蒲	(昭和37年卒)	市北区
大浦	(昭和37年卒)	市北区
高田	(昭和37年卒)	市北区
井上佐治郎	(昭和42年卒)	高石市

募金先  
大阪学芸高等学校同窓会（成器会）  
平成二十一年度募金事業本部

大阪学芸高等学校同窓会（成器会  
平成二十二年度募金事業本部

久保義男（昭和22年卒）堺市東区

連絡先 テレ568-0003 大阪市住吉区長居  
一丁目四番十五号  
募金主体 大阪学芸高等学校同窓会（成蹊会）  
募金方法 一口一万円の数制限なしで（ただし事情により一口単位に達しない場合にも喜んで）お受け致します。

委員足立重彦一彦彦久米西澤仲伸下佐浩介晃男雅

久保義男	(昭和22年卒)堺市東区
伊丹啓次	(大正14年卒)堺市中市
沢崎市郎	(昭和40年卒)堺市西区
東川博	(昭和20年卒)大阪市平野区
武江栄太郎	(昭和28年卒)大阪市東区
故田中善二郎	(昭和17年卒)奈良市
大橋渡	(昭和56年卒)大阪市住吉区
吉田禎吉	(昭和19年卒)曳野市
山中良威	(平成11年卒)大阪狭山市
中谷忠男	(昭和10年卒)新宮市
井上隆二郎	(昭和20年卒)大阪市城東区
故山本和光	(旧教職員)
高橋剛	(昭和63年卒)近江八幡市
藤井昭三	(昭和20年卒)大阪市住吉区
松下勤	豊襄屋
柴田泰三	(昭和29年卒)川西市
福岡中	中

# 平成二十一年度 決算報告

副会長兼会計 井原 靖二

◎ 平成20年4月1日から平成21年3月31日迄の  
収支決算、財産目録は下記の通りです。  
収支明細について概要を説明します。

1. 収入面は、平成21年2月の卒業生から納付された会費が53・1%、同窓各位から寄せられた年会費・寄付金（募金）が24・1%で残りは、会報広告収入と慰靈碑管理基金収入（17・8%）並びに特別会計剰余金と受取利息（4・9%）等です。

2. 一方支出面は、同窓生に配布する会報の印刷費と通信費が2,735千円で支出の60・8%。次いで学園の諸行事（体育祭）・卒業生に配布の卒業証書用丸筒並びに同窓会関係者に対する慶弔費・寄贈費として金一封を贈り諸活動に協力しているのが1・8%です。その他の支出として各案内状の印刷・往復ハガキその他郵送の通信費・各種手数料・事務費・旅費・慰靈碑寄進者名彫り入れ等の必要経費があります。

◎ 平成20年度の「募金」は同窓生からのご支援、ご協力により募金者数46名、募金額427,500円に達しました。

◎ また「年会費」も納入者212名、納入額636,000円の温かいご協力を賜りました。

◎ 「慰靈碑管理基金」についても募金者12名募金額367,000円のご協力を賜りました。

◎ 尚、決算関係諸表につきましては、会計監査を受けた上、平成21年5月16日の定期総会において、ご承認を得ております。

ここに、深く感謝の意を表し、改めて厚くお礼申し上げます。

## 平成20年度 収支計算書

(自 平成20年4月1日～至 平成21年3月31日)

単位：円

収入の部					
収入科目	実算額	予算額	予算比増減	備考	
会員会費	2,340,000	2,000,000	340,000	H19年度卒業生入会金 @5,000円×468名	
	636,000	800,000	-164,000	@3,000円×212名	
	427,500	500,000	-72,500	46名	
	420,000	390,000	30,000	会報14号分12コマ 会報13号分2コマ	
	計 3,823,500	3,690,000	133,500		
会員外収入	367,000	500,000	-133,000	12件	
	271	10,000	-9,729	H19年度学級費残金	
	215,690	200,000	15,690	春季懇親会精算残金 39,000円、秋季懇親会精算残金 157,940円、高野山参拝旅行精算残金 18,750円	
	計 582,961	710,000	-127,039		
貢献収入	受取利息	651	1,000	-349	普通預金決算利息
	計	651	1,000	-349	
会員外収入	未払金	2,861	0	2,861	3月分電話料
	計	2,861	0	2,861	
収入計	4,409,973	4,401,000	8,973		
基金取崩					
前年度繰越金	1,053,759	1,053,759	0		
合計	5,463,732	5,454,759	8,973		

単位：円

支出の部				
支出科目	実算額	予算額	予算比増減	備考
会員会費	154,940	200,000	-45,060	総会資料印刷・総会会費
慶弔費	10,175	50,000	-39,825	弔電 2件6,425円、校祭祭典会費(清酒) 3,750円
寄贈費	10,000	50,000	-40,000	高校体育祭祝金 10,000円
記念品費	59,000	80,000	-21,000	卒業証書用丸筒 476本
印刷費	1,871,935	1,900,000	-28,065	同窓会報「学芸」裏表印刷 1,747,990円、役員・委員会案内印刷 40,995円、各行案内印刷 77,200円、学園祭との会合について印刷 5,260円
通信費	1,172,848	1,200,000	-27,152	同窓会報13,427通 集送料 986,884円、各種会議行事案内往復ハガキ 130,400円、電話料 31,765円、市外営業電話料(KDDI株) 113円、高野山一泊旅行案内郵送料 13,420円、その他封書郵便料 10,260円
青年部会費	0	0	0	活動資金支援
般費管理費	50,000	0	50,000	影響碑寄進者名彫り入れ2名分
支払手数料	579,528	500,000	79,528	募金・会費の口座払込手数料 34,730円、会報表紙デザイン料 60,000円、会報封入・封筒作業手数料 138,602円、会報発送代行費 109,966円、会員データ更新料(移動会員メンテ) 57,330円、会員データマスター(システムインストール・住所クリーニング料) 99,750円、会員各員人手料 13,020円、発送可能データ帳簿基本料 10,500円、各種行事完了名シール貼 34,146円、高野山一泊旅行案内書封入作業料 4,200円、銀行振込手数料 12件 1,260円、普通預払過期再発行手数料 12,500円、株高匠削発行手数料 24件 2,400円、通販用箱内説作成料 10件 1,050円、ユニバーサルサービス料 12件 74円
事務費	240,000	240,000	0	事務局手当 20,000円×12ヶ月
広告宣伝費	20,000	0	20,000	収奏楽團OB会・定期演奏廣告料
会議費	7,554	15,000	-7,446	会計監査・会報の会計報告等打合せ
旅費交通費	50,520	45,000	5,520	銀行・郵便局訪問交通費
雑品費	0	0	0	
消耗品費	126,630	90,000	36,630	ゴム印・封筒・委嘱状・領收証・カラーベーバー
租税公課	128	200	-72	受取利息に対する源泉税、地方税
会合費	106,620	0	106,620	17・18・19年度卒同窓会諸費用
雜費	36,750	50,000	-13,250	PCA会計ソフト「経理じまん8」サポート・サービス契約年会費 26,250円、PCA会計ソフト「経理じまん9」にバージョン・アップ 10,500円
予備費	0	100,000	-100,000	
財務支出	未払金	2,631	0	電話料
支出計	4,499,259	4,520,200	-20,941	
基金積入	0	0	0	
次年度繰越金	964,473	934,559	29,914	
合計	5,463,732	5,454,759	8,973	

## 財産目録

平成21年3月31日現在

### 普通財産

項目		平成20年度	平成19年度	前年比増減
手 評 売 金 (合 計)		201,628	463,417	-261,789
手 評 現 金 (校 内 間 保 分)		47,112	63,031	-15,919
普 通 預 金 (三井住友銀行西田辺支店)		447,957	501,405	-53,448
郵 便 振 替 (住吉長居西新便局・年会費口)		146,540	5,500	-141,040
郵 便 振 替 (住吉長居西新便局・募金口)		121,236	20,406	-100,830
樹 地 権 (原 寄 付 建 立 用 土 地)		2,400,000	2,400,000	0
構 築 物 (原 寄 付 建 立)		4,500,000	4,500,000	0
計		7,864,473	7,953,759	-89,286

## 貸借対照表

平成21年3月31日現在

資産の部		基金の部	
科目	金額	科目	金額
現 金	248,740	基 金	0
普 通 預 金	447,957	未 払 金	2,861
郵 便 振 替	267,776		
定 期 預 金	0	剩 余 金	7,861,612
構 築 物	4,500,000	(前期繰越剩余金)	(7,951,128)
樹 地 権	2,400,000	(当 期 剩 余 金)	(-89,516)
資 产 合 计	7,864,473	基 金 合 计	7,864,473

## 剩余金処分計算書

平成21年5月16日現在

項目	金額
1. 当期末未処分剩余金	7,861,612
2. 剩 余 金 処 分 部	
(1) 基金組入額	0
(2) 次期繰越剩余金	7,861,612

## 募金事業納入状況

区分	平成20年度		平成19年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成19年度分	—	—	14名	159,000	-14名	-159,000
平成20年度分	6名	55,000	42名	412,000	-36名	-357,000
平成21年度分	40名	372,500	—	—	40名	372,500
特別寄付分	—	—	2名	20,000	-2名	-20,000
計	46名	427,500	58名	591,000	-12名	-163,500

## 年会費納入状況

区分	平成20年度		平成19年度		前年比増減	
	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額
平成19年度分	1名	3,000	57名	171,000	-56名	-168,000
平成20年度分	39名	117,000	201名	603,000	-162名	-486,000
平成21年度分	172名	516,000	—	—	172名	516,000
計	212名	636,000	258名	774,00	-46名	-138,000

## 会費(入会金)納入状況

区分	平成20年度		平成19年度		前年比増減	
	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額	納入者数	納 入 額
平成19年度分	—	—	1名	5,000	-1名	-5,000
平成20年度分	—	—	43名	215,000	-43名	-215,000
平成21年度分	468名	2,340,000	—	—	468名	2,340,000
計	468名	2,340,000	44名	220,000	424名	2,120,000

## 慰霊碑管理基金納入状況

区分	平成20年度		平成19年度		前年比増減	
	募金者数	募金額	募金者数	募金額	募金者数	募金額
平成19年度分	—	—	1名	10,000	-1名	-10,000
平成20年度分	—	—	7名	170,000	-7名	-170,000
平成21年度分	3名	190,000	6名	80,000	-3名	-110,000
計	9名	177,000	—	—	9名	177,000
	12名	367,000	14名	260,000	-2名	107,000

## 大阪学芸高等学校同窓会（成器会）

会長 和田貞夫

**年会費納入についてのお願い**

昨年8月30日に実施された第45回衆議院の総選挙の結果民主党が単独で過半数（241議席）を大きく上回る308議席を獲得し、自民・公明の連立政権から民主党を中心とした民主・社民・国民新の新しい連立政権に代わりました。

9月16日に召集された特別国会で民主党の鳩山由紀夫代表が首班指命を受け第93代目の首相となり鳩山内閣が誕生致しました。

子供手当、農業戸別所得補償、高速道路無料化、最低保障年金等を大きな柱にかける鳩山内閣の私学に対する財政支援措置は辛口にならざるを得ないと思います。従って少子化の進むなか私学経営は事のほかきびしい困難な時代になろうとしていますし、従って同窓会も一層の学園への支援協力が望まれることになろうと思われます。同窓会の組織強化は、同窓会財政の確立から始まると考えます。現在の同窓会財政は根本的に建て直す必要に迫られています。新卒者から卒業時に納付していただく同窓会入会金の総額がその年の同窓会々誌の発行費用に当ててしまうようでは何をか云わんやです。本来新卒業者の入会金は同窓会基金として積立てて行くようにすることが自然の姿だと思います。日常活動の費用は年会費・寄付金で賄うようにしなければなりません。そのために同窓会財政を立て直すことには積極的なご協力を会員各位にお願いする次第です。

是非次の通りの年会費及び基金の募集にご協力をお願い申し上げます。

①成器会の年会費（1人年間3,000円）

②成器会事業基金（1□10,000円ですが何口でも結構です）

③物故者慰靈碑管理基金（1□10,000円ですが何口でも結構です）

（10万円以上の寄付者にはご芳名を刻し、慰靈碑建立場所に標記します）

①～③の金額の領収につきましては何れも振込用紙の払込票の受領証をもって領収証に替えさせて戴きますのでご了承下さい。

①～③までの年会費及び各基金は同窓会活動の活動費用になりますので積極的な募金活動にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**※年会費納入状況**

年 度	納 入 者	納 入 金 額
平成17年度(平17/4/1～平18/3/31)	268名	804,000円
平成18年度(平18/4/1～平19/3/31)	293名	879,000円
平成19年度(平19/4/1～平20/3/31)	258名	774,000円
平成20年度(平20/4/1～平21/3/31)	212名	636,000円
平成21年度(平21/4/1～平21/11/30)	40名	120,000円

平成二十一年度総会及び懇親会のご案内

平成二十二年度恒例の総会並びに懇親会を左記の通り開催することになりました。学園の現在の進学実績の更なる飛躍と魅力ある学校づくり及び同窓会のご報告等詳しくお聞き頂けると思います。つきましては、同窓会のお知り合いの方々をお誘い下さいまして、万障お繰り合わせの上、多数のご出席を頂けます様お願い申し上げます。

副会長 田中敏文

● 総会及び懇親会（参加人数により場所・時間を  
変更する場合があります。）

平成二十二年五月十五日(土)  
(場所:道頓堀ホテル)三時~総会 五時~懇親会  
懇親会及び懇親会(要更する場合があります。)

**高野山普賢院一泊と雲之上温泉旅行**

## 秋季懇親会

四時三十分集合  
五時開会

宛先 テ558-0003 大阪市住吉区長居一一四一十五  
ので、卒業期・年度・住所・ご貴名・TEL・FAX等の記入の上  
左記の所にお送り下さい。(本年度も葉書を同封しておません)

**大阪学芸高等学校同窓会(成器会)**  
TEL 06(六六九三)六三〇一  
FAX 06(六六九三)五一七三

TEL  
FAX  
六〇六  
(六六九三)  
五一七三

\*総会と秋季懇親会の場所・時間は参加人数により変更する場合がありますので、参加ご希望の方はその都度役員にお聞き下さい。

大阪学芸高等学校同窓会（成器会）よりのお願い

大阪学芸高等学校同窓会(成器会)は昭和49年に創立され卒業生は約3万余名に及んでいます。年1回の会報「学芸」発行を継続していくためには、同窓生のご協力が必要です。振込用紙を同封いたしますので、成器会のためにぜひ年会費と事業基金の募金並びに慰靈碑管理基金等へのご協力を戴きお振込をお願い致します。

\*会報に関してご意見をお聞かせください。

あわせて住所変更、クラス会・同期会の開催などもお知らせいただければ幸いです。

※〒558-0003 大阪市住吉区長居1-4-15  
大阪学芸高等学校同窓会(成器会)宛  
☎06(6693)6301 FAX 06(6693)5173

### （個人情報の取り扱いについて）

平成17年4月に施行されました「個人情報保護法」に基づいてデーターは厳密に管理し、同窓会活動（会報発送等）以外の目的には使用いたしません。

## 親子同窓生の紹介

同窓会報の発行も今回で15号となります。編集会議では新しい企画として親子が揃って成器商業学校・成器高等学校・大阪学芸高等学校を卒業しておられる家庭や兄弟揃って同じ学園の卒業生であったりする家庭が比較的に多いことが分かりましたので次回から漸次それらのご家庭を会報でお知らせすることを決めました。氏名、生年月日、卒業年月日、卒業時の学校名を同窓会事務局までご連絡下さいますようご協力をお願い致します。

会報等平成廿年や十五年目を過ぎ、お陰様で園原名前  
届けする事が出来ました。  
既に、一本校百六年の歴史を持つ「大阪学芸」が、少  
子化と大学との競争、系列化が急速に進んでいる中で  
教職員が一一致団結して前向きな意識改革が不可欠であ  
り情熱をもって教育改革に取り組む姿勢が大切だと考  
えます。  
今後、教育の質の向上、地域社会から信頼を寄せて  
貰える学校づくりに期待する次第であります。  
最後になりましたが、「ご寄稿頂きました皆様方並び  
に広報誌載った協賛頂きました方々に深く感謝し御礼  
申し上げます。  
終わりに皆様方のご健康とご多幸を心からお祈り致  
しまして、「あとがきの」挨拶とさせて頂きます。

平成21年度役員・委嘱職員名簿

# 成器会会報「学芸」第15号

このたびは広告にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

会報発行の際、大きな財源となっております。学園と同窓生とを結ぶ会報「学芸」がより豊富な内容で未永く発刊出来ますよう、役員・委員一同努力を重ねて行きたいと思いますので今後も広告の掲載にご協力下さい。

<p>成器会名誉会長 <b>伊丹 啓次</b> (1部20期・大正14年卒業) 株式会社伊丹ビル社長・大阪学芸顧問 〒561-0814 豊中市豊南町東3-14-4 TEL 06 (6331) 0745</p>	<p>税務・労務・法律・行政をはじめ 中小商業者のあらゆる相談は… <b>金中連</b> 大阪中小企業経営センター 理事長 <b>和田貞夫</b> 成器会会長 (大阪学芸顧問・1部39期・昭和19年卒業) 〒590-0953 堺市堺区甲斐町東4丁1番10号 TEL(072)221-5115 FAX(072)221-5055 E-mail keiei@mb1.kisweb.ne.jp URL http://www.kisweb.ne.jp/keieicenter</p>	<p><b>丸善電機産業株式会社</b> 常務取締役 <b>橋本浩行</b> (高校18期生・昭和56年卒業) 本社 〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目2番6号 TEL(06)6797-1133(代) FAX(06)6797-1137 中国工場 江蘇省昆山市蓬朗鎮昆嘉工業区通銘路 TEL0512-5761-8711 FAX0512-5761-7917 URL http://www.magnbx.co.jp</p>
<p><b>足立硝子株式会社</b> 〒556 大阪市浪速区日本橋東2丁目2-6 TEL(06)6643-0335 FAX(06)6643-5677 〒452 愛知県清須市西枇杷島町古城2-4-3 TEL(052)506-7505 FAX(052)506-1633 H.P. 090-5161-3510 URL http://www.adachiglass.co.jp E-mail adachi@adachiglass.co.jp</p> <p>代表取締役会長 <b>足立好一</b> (高校1期・昭和24年卒業) 学校法人大阪学芸顧問・成器会副会長</p>	 <p>USJ ピーターパン (高さ50cm) 2塔を 製作しました。</p> <p>いづみや岡本鉄工</p> <p>代表取締役 <b>岡本利雄</b> (学校法人大阪学芸理事長・昭和41年卒業) 大阪市平野区瓜坂南2丁目1番32号 TEL06-6707-6987 URL http://home.att.ne.jp/alpha/okamoto/</p>	<p>大阪学芸中等教育学校 指定業者 大阪学芸高等学校</p> <p><b>有限会社 オオサカユニフォーム</b> 大阪学芸 売店 取締役 北村裕次 yuki.kitamura@osaka-uniform.com (高校17期生・昭和63年卒)</p> <p>本社 〒558-0011 大阪市住吉区大塚2-6-27 TEL(06)6695-3929 FAX(06)6693-9716 大阪学芸売店 TEL(06)6695-1599 FAX(06)6693-5855</p> <p>岡本店 〒559-8274 堺市中区宮原町2-12 TEL(072)279-2705 FAX(072)279-8298</p>
<p><b>東川株式会社</b> と がわ 代表取締役 <b>東川 博</b> (1部40期・昭和20年卒業)</p> <p>〒547-0012 大阪市平野区長吉六反3-10-18 TEL (06) 6709 - 7280 FAX (06) 6702 - 1188</p>	<p>鉄・ステンレスパイプ 切断専門 環境に優しい商品 タケックスクリーンの取り扱い</p> <p><b>西野パイプ株式会社</b> 代表取締役 <b>西野仁彦</b> (高校II期・昭和34年卒業)</p> <p>TEL(072)255-0803 FAX(072)255-0804 e-mail nishino-paiyu@mbi.nifty.com インターネットショップ(West Field) http://w-field.b-smile.jp/</p>	<p>清掃・警備・アウトソーシングの トップカンパニーをめざして挑戦する</p> <p><b>株式会社 大阪ビル管理</b> 取締役本部長 <b>小川健一</b> (高校・平成9年卒業)</p> <p>〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町6-22 TEL(06)6352-3871(代) FAX(06)6352-7895 E-mail k-ogawa@obk-net.co.jp URL http://www.obk-net.co.jp</p>
<p>美術印刷・紙器製品 企画・提案・製作</p> <p><b>株式会社 ヒラックス</b> 代表取締役 <b>上野寅次郎</b> (成器会副会長・高校9期・昭和32年卒業)</p> <p>〒581-0012 大阪府八尾市小阪合町1-2-15 TEL (072)929-8739 FAX (072)929-8737 E-mail:hilux@axel.ocn.ne.jp</p>	 <p>社団法人/全国宅地建物取引業協会 社団法人/大阪府宅地建物取引業協会 宅建免許/大阪府知事(2)第48749号</p> <p><b>有限会社 朝日プランニング</b> 代表取締役 <b>衣斐 雅一</b> (高校27期・昭和50年卒業)</p> <p>〒545-0043 大阪市阿倍野区松虫通2-8-9 TEL (06) 6655-6774 FAX (06) 6655-6775 asahi0829@clock.ocn.ne.jp</p>	<p><b>私も頑張っています。 広告にご協力を!</b></p>

## 表紙絵及びイラスト 作家プロフィール はら たくみ(原 琢三)

イラストレーター・日本グラフィックデザイナー協会会員  
テレビ出演等々各界で活躍中

表紙イラストは久 琢磨(ひさ たくま)先輩  
明治28年11月8日高知県で生る。大正4年に成器商業学校を卒業した。  
成器商業時代は相撲部生徒として活躍し、その名を全国に轟かせた。その後神戸高商(現・神戸大)に進学、相撲部に入部して石井光次郎(昭和42年衆議院議長に就任)と出会う。神戸高商相撲部の黄金時代のさきがけとなった。大正8年から京都市大浜で始まった全国学生相撲選手権大会の創設者の一人として崇められ、昭和40年に財団法人日本相撲連盟より名誉8段を授与された。神戸高商卒業後は鈴木商店(戦前の財閥系)を経て朝日新聞社に入社した。昭和9年、石井光次郎の紹介で東京の根岸盛平を招聘し大東流合気柔術を学ぶ事となり、昭和18年同新聞社を退職するまで修行した。久琢磨は昭和14年8月26日武田烈角(大東流合気柔術の中興の祖)より大東流の免許證を授与された。久琢磨の功績は現在「琢磨会」として日本国内に留まらず海外にも支部が生まれ、その数50以上に達する。昭和55年10月31日神戸で文武両道の道を歩んだ84才の生涯を閉じた。